

令和6年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和5年度事務事業 〕

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	石綿検診事業			事業番号	011-227
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	保健医療
					課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—	—	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.8
			有	取組	検診や予防接種の受診体制の整備		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画			
3	事業開始年度	平成 26 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市内在住の石綿ばく露の不安を有する方				対象数	単位
						200	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	石綿ばく露の可能性のある方に対し検診を実施することにより、ばく露に係る健康被害への不安を解消するとともに、自身の健康状態の把握と自主的かつ継続的な健康管理を進める。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	環境省「石綿読影の精度に関する調査」に参加する形で石綿検診を実施。 本市「肺がん・結核検診」の胸部X線画像を読影することにより、石綿関連所見の有無等を把握するもの。 ①市内医療機関（4機関）による一次読影 ②環境省による二次読影 ③結果通知後、上記読影の結果、対象となった方に対する精密検査（胸部CT検査）の案内 ④精密検査の結果通知					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	一次読影を行う市内医療機関（近畿中央呼吸器センター、堺市立総合医療センター、耳原総合病院、ベルランド総合病院）					
10	公民連携・協働事業	患者団体との連携による検診案内の周知（講演会での講演、患者団体による検診チラシの配布）					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	石綿検診申込者数	人	目標値	60	65	65	65
			実績値	68	47		
			達成率	113%	72%		
	当該指標を選定した理由	より多くの市民が検診を受診することにより、石綿ばく露に係る不安解消、自主的・継続的な健康管理につながることとなるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	石綿検診申込者数					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
				令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	肺がん・結核検診会場における石綿検診案内配架枚数	枚	目標値	700	700	700	
			実績値	700	700		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	当該検診は「肺がん・結核検診」の機会を活用するものであり、受診する可能性の高い市民へ重点を置いた周知を行うもの。					
	目標値の設定根拠・算出方法	各保健センター配架枚数					

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	石綿検診事業	事業番号	011-227
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	554	699	1,663	553	1,659
財源	国支出金	554	699	1,663	553	1,659
	府支出金			0		0
	市債			0		0
	その他（ ）			0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
	一般財源			0		0
14	人件費（b）	9,680	9,710	9,670	7,290	7,290
15	年間経費（c）=（a）+（b）	10,234	10,409	11,333	7,843	8,949

事業費の内訳

（単位：千円）

16事業費内訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
	胸部X線読影及びCT検査委託料	R5	決算	391	0	画像提供手数料	R5	決算	0	0
		R6	予算	1,222	0		R6	予算	100	0
	アスベスト健康手帳等印刷製本費	R5	決算	15	0		R5	決算		
		R6	予算	24	0		R6	予算		
	医療機関宛等X線画像郵送料	R5	決算	89	0		R5	決算		
		R6	予算	219	0		R6	予算		
	環境省検討会等出席旅費	R5	決算	0	0		R5	決算		
		R6	予算	36	0		R6	予算		
	消耗品費	R5	決算	58	0		R5	決算		
R6		予算	58	0	R6		予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和4年度	令和5年度	
17	①	石綿検診申込者数	人	58	47
	②	上記①にかかる年間経費	千円	10,409	7,843
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	179,466	166,872
	備考（算出についての説明等）				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	本制度は環境省が実施する「石綿読影の精度に係る調査」に参加する形で実施しており、毎年50人前後の申込者が存在する。本制度は「肺がん・結核検診」の機会を活用するものであり、当該検診受診者を中心とした広報を行うことで更なる受診者数の増加が見込まれると考える。 引き続き、市広報紙・ホームページ掲載や検診案内配布のほか、タッチポイントを意識した広報周知の充実を進め、検診申込者数をさらに増加させていく必要がある。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	本検診は、石綿ばく露の不安を有する方が自身の健康状態を把握し、自主的かつ継続的に健康管理をすすめていく機会を提供をするものである。例年、一定数の受診者に対し、特別財源を用いて専門医による読影を実施しており、近年注目されているアスベストの健康被害に係る市民の不安の解消に寄与している。
----	---

令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和5年度とした事業のみ記載）

必要性	■ 高い □ 低い	他に代替となる検診事業はなく、今後も継続的に一定数の受診者が見込まれることに加え、全額特別財源で実施する事業であることから、本事業の必要性・有効性は高いと考える。
有効性	■ 高い □ 低い	